

**授業概要**

高校までに口語文法、文語文法を学習してきたが、本授業ではそれらを改めて取り上げる。学校文法を中心にみていくが、日本語教育文法などの新たな観点を紹介する。授業ではまず前回の授業内容に関する小テストを実施し、そのあとその回の授業内容を解説し、続いて受講者が演習問題に取り組む。演習問題の解答を逐一解説しながら理解を深めていく。授業内容は積み上げていく方式なので、出席を原則とする。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス（言葉と文字の関係について）
第 2 回	文、文節、単語について
第 3 回	文の成分について
第 4 回	名詞、代名詞について
第 5 回	副詞、連体詞、接続詞、感動詞について
第 6 回	動詞について
第 7 回	形容詞、形容動詞について
第 8 回	助動詞について
第 9 回	助詞について
第 10 回	品詞の識別について
第 11 回	敬語について
第 12 回	文節と文の種類について
第 13 回	文語文法の概説
第 14 回	文語の助動詞と助詞について
第 15 回	まとめ
第 16 回	期末試験（筆記試験）

**到達目標**

日本語の口語文法、文語文法についての基礎的な知識を得、文法の観点から日本語を理解できるようになることを目標とする。

**履修上の注意**

授業では前回の授業内容に関する小テストと、その回の演習問題に取り組む。授業内容は積み上げていく方式なので、欠席すると次回の授業内容についていけなくなる恐れがある。出席を原則とする。

**予習・復習**

復習は、前回の授業内容を振り返って小テストの準備をすること。従って予習を兼ねる。

**評価方法**

小テスト30%、演習問題答案30%、期末試験40%で評価する。何らかの事情により試験中止の場合は小テスト50%、演習問題答案50%で評価する。欠席は授業回数数の3分の2未満と決まっている。遅刻は3回につき欠席2回で数える。

**テキスト**

教科書は使用しない。その都度、授業資料を配付するので、資料をなくさないように管理すること。